



東海地方ではじめて発見された環状木柱列



発掘された縄文人



発掘された縄文犬

初公開!
Power stone



呪術師の歯を象ったヒスイ玉(個人蔵)

ここまでわかった!

田原市博物館企画展

保美貝塚

ほびかいづか

渥美半島の縄文時代晩期の大貝塚

田原市が誇る縄文時代の遺跡——保美貝塚

保美貝塚は、国史跡吉胡貝塚、県史跡伊川津貝塚とともに縄文時代後・晩期の貝塚で、「渥美の三大貝塚」として知られています。また古くから多くの人類学者、考古学者の調査が行われ、出土した遺物・縄文人骨は、黎明期の日本の考古学・人類学の発展に大きく貢献したことで有名な遺跡です。

近年の調査で、東海地方初めての環状木柱列の発見、国立歴史民俗博物館研究チーム調査による盤状集骨葬例の発見とその研究など、過去の調査に加えめざましい新発見があり注目されています。また、田原市の調査と、過去の調査資料の整理によって保美貝塚は吉胡・伊川津貝塚とともに、

東海地方はもとより日本の縄文文化の地域間交流を示すばかりでなく、縄文時代の社会、日本の歴史を考えるうえでも大切な遺跡であることが再確認できました。

この展覧会は、90年ぶりに里帰りする遺物をはじめ、最新の出土品による成果を通じ、保美貝塚の調査の成果を広く市民の皆さんを始め多くの人たちに知っていただくため企画したものです。

今回の展覧会、関連行事を通じ、保美貝塚、ふるさとの歴史の深さ、素晴らしさを知っていただき、明日のまちづくりを考えるきっかけになればと思います。



大量に作られた石鏡



骨で作られた道具



貝輪作りの関連遺物

関連事業

縄文セミナー 1月14日⑩ 午後1時30分～
「保美貝塚の人たちと暮らし」
講師：中部大学 長田友也氏 会場：華山会館 受講無料

展示解説

平成29年12月16日⑤・平成30年1月6日⑤ いずれも午後1時～
当館学芸員 参加無料(要観覧料)

【主な展示資料】

- 縄文土器・石器・土偶・骨角器、貝輪及び貝輪製作関係資料、動物遺体、埋葬人骨、埋葬犬、調査記録・調査写真・保美貝塚関連文獻(田原市蔵)
- ヒスイ製玉(個人蔵)、縄文土器(五貫森式土器一括)・骨角器ほか(個人蔵)

【里帰り展示】

- 明治36年調査資料・骨角器・土偶ほか
- 昭和16年・40年調査資料・縄文土器・調査記録ほか(東京大学総合研究博物館蔵)

田原市博物館

〒441-3421 愛知県田原市田原町巴江11-1
TEL 0531-22-1720 <http://www.taharamuseum.gr.jp>



- JR・名鉄「豊橋」駅から豊橋鉄道渥美線乗車「三河田原」駅下車、徒歩15分(田原城跡内)
- JR・名鉄「豊橋」駅から豊橋バス伊良湖本線乗車「田原町」バス停下車、徒歩10分
- 田原市コミュニティバス「博物館入口」バス停下車、徒歩3分

1枚につき名鑑
団体様まで贈呈
いたします。